

# 国際的な視点から見たIPv6普及策について

東京大学 大学院 情報理工学系研究科 教授  
IPv6普及高度化推進協議会 専務理事  
IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース 代表  
江崎 浩

1. 「課題先進国」以上の「解決先進国」としての国際的に高い認知度。
  - a. 既存システム
  - b. 新領域(例: センサーネット、ファシリティー)
2. ASEAN諸国(含 インド)からの支援(技術・施策)要請。(MoUの締結)
3. 標準化のリーダーシップ (via IPv6 Forum)
  - a. Ready Logo (実装、プロトコル、相互接続性)
  - b. Enable Logo (ISP, HP, CPE)
  - c. Education Logo (人材、教育プログラム)
4. APEC, ASEAN でのリーダーシップの必要性

# APEC, ASEAN への責任と貢献

- APEC TEL 沖縄会合（2010年）
  - IPv6、ブロードバンドインターネット環境
- 総務省 日ASEAN官民協議会（2010年から）
  - 防災システム 分科会
  - センサーネットワーク 分科会
  - 電子行政 分科会

# 「センサーネットワーク」分科会 ー ポイントー

1. 『解決先進国』としての認知度向上と貢献  
(\* ) IPv6、クラウド、ブロードバンドネットを前提に
2. 社会インフラへの展開(重点6分野)  
『地球環境』、『エネルギー』、『生産製造』、  
『施設設備』、『交通基盤』、『都市基盤』
3. 共通基盤のための『標準化』
  - a. 「IPv6環境クラウド」
  - b. 標準化戦略
  - c. 「横串」的な標準化
4. 実証的環境での運用経験、ビジネスシステムとしての運用経験